

大橋町東部町会だより

大橋町東部町会
防災会
2022年12月

防災は情報収集が大切

防災講演会を役員・班長を対象に実施

「防災のはなし」と題して、防災講演会を十一月十一日・午後七時より東部公民館で、四十七名が参加し、講師に佐野市危機管理課から布施主査と大山主査補を招いて行いました。



冒頭に、近藤町会長は「台風十九号で東部町会は大変な被害をうけた。防災会を立ち上げた。水害対

菊沢川の川床を綺麗になど 10名の方が要望・質問

講演会では、台風19号の時の体験から10名の方から要望・質問が出されました。紙面の都合上4点を掲載します。

Q. 西中が避難所になっていますが、車が被害をうけた。

A. 西中以外の別な避難所に避難してもOKです。

Q. 台風19号の時はペットと一緒に避難ができませんでした。

A. 避難者がいないスペースであればケージに入れて、一緒に避難できます。

Q. 長靴での避難はなぜいけないのですか

A. 水が長靴に入ると歩きにくくなります。また長靴が流され素足になる危険もあります。

Q. 菊沢川も氾濫した。川床を綺麗にして欲しい。

A. 関係部門に伝えます。

※町会から県土木事務所に菊沢川の清掃を要請していますと説明があり、また市からも要請するよう町会からも依頼をしました。

策マニュアルを作成した。防災用の機材を備えるなど水害の対策を講じている。また、皆さんには防災の意識を高めて頂きたい」と挨拶をしました。

続いて、講演をした大山主査補から、①水害の防災は情報収集が大切です。気

さい。③家族で話し合っタイムラインを作成して下



象情報や市が発令する避難情報を入手して命を守って下さい。②避難指示が発令されたら全員が避難して下さい

さい。など水害から身を守る方法を幅広く講演していただきました。

講演の後、避難所で使用する段ボールベットと簡易トイレの組み立て方の講習会を行いました。

